

第3回議会報告会質疑応答記録（概要）

平成24年10月23日（火）午後7時から 洗馬地区

委員会報告

*1人ありましたが、意見でしたので意見交換会にして頂きました。

意見交換会

Q1 市民

・小学校の通学路の安全点検を、緊急で実施されたが、特に藤塚から小学校の間が心配だ。改善が不十分で、PTAも心配している。早急な対策が必要であると思うが、どの様な対策を考えているのか、具体的に伝えて欲しい。（歩道とか、グリーンベルトなど）

A 中原輝明議員

・毎年出ている事例で、充分承知しているが、予算が絡んでいて、なかなか実現できていないのが現状。地権者との交渉後、速やかに推進させるように市へ要望する。

A 金田副議長

・文部科学省からの通達で、8月に小学校通学路を対象に緊急点検が実施された。市側でも、危険箇所については把握している。ふるさと振興会でも、事前調査していただいている。

・県と市が折衝中。市の担当部署に強く要望しておく。

A 中原巳年男議員

・対応に時間が掛かる。西部中学校生の事故以来緊急性を承知している。歩道やグリーンベルトも、時間が掛かり難しい。そこで、西部中では、通学路を危険度の低い道に変更して安全確保をしている。自己防衛もお願いしたい。畑の中の道なので、市の方へ前向きに進めるように強く要望しておく。

Q2 市民（意見）

・通学路の安全については、教育と子育ての両面で進めて欲しい。

Q3 市民

・通学路の緊急点検後の内容を市民にもわかりやすく知らせてほしい。

A 中原巳年男議員

洗馬小学校関係では、

太田橋西側・（調査）道幅が狭い・大型車両が通行している
（対策）拡幅とグリーンベルトの検討中

太田橋東側・（調査）幅が狭い
（対策）徐行の標識設置と拡幅の検討中

琵琶橋西側・（調査）幅が狭い・車両の通行量が多い
（対策）徐行の標識設置と拡幅の検討中

太田橋～上組（調査）車両の通行量が多い・道幅が狭い
（対策）速度制限標識設置・横断歩道の設置

JA アピス・（調査）交通量が多い・道幅が狭い

(対策) 徐行の標識設置と拡幅の検討中

以上の箇所を含め、緊急点検以外の部分についても早急に改善されるように、市側に要望する。

Q4 市民

- ・中原交差点から南側の道路でも、更に強く要望したい。

A 中原巳年男議員

- ・緊急調査のため、時間が短い調査だったので、他の箇所も改善するように要望しておく。

A 山口議員

- ・今回の調査は、学校側から指定された箇所の緊急調査であった。基本的には区長要望から、行政に上げるようにしていただきたい。

中学校に関しては、これから実施される。

Q5 市民

- ・洗馬ふれあいセンターについて、条例変更をして欲しい。65歳以上は無料にするなど、条例変更をして利用者が増える様にして欲しい。他は老人無料で、平等の精神に反している。

A 古畑議員

- ・洗馬ふれあいセンターは、200円で誰でも入浴できる施設。
他は、65歳以上しか入れない施設。

A 中原輝明議員

- ・その時は、洗馬ふれあいセンターを有料にして欲しい、という意見が市民から出たから、有料化した。
- ・状況を確認する。

Q6 市民

- ・地域振興バスが4月に改正されたが、上小センター以南の市民は運行時刻が早い時間で終わることに大変困っている。再度見直してほしい。

A 中原輝明議員

- ・区長了承を得て変更している。区内の連絡が上手くいってなかったと思われる。
- ・特例事情路線については、再考を要望していく。

Q7 市民

- ・地域振興バス待合の乗客等を考慮して、バスの終点到に公衆トイレを設置して欲しい。

A 中原輝明議員

- ・早期に簡易トイレを用意するように要望しながら、公共的トイレについては、市へ強く要望する。

Q8 市民

- ・奈良井川右岸の太田橋付近のアカシヤの木の伐採をお願いしたい。

A 中原輝明議員

- ・住民要望で出ているので、県に確認し要望する。

Q 9 市民

- ・上組付近の側溝が、現在フタが無く脱輪する車もあり危険なため、県道原洗馬停車場線の南側の側溝をV S側溝に改修してほしい。

A 中原輝明議員

- ・地区では、中原交差点を改修の方が優先であるが、V S側溝にしてもらえるように市を通じて県へ要望する。

Q 10 市民

- ・岩垂原（農道）の交通事故が頻発している。事故の内容を調査、分析して対策を打って欲しい。例えば、道にシグナルとしてガタガタさせるデコボコを付けたり、標識を設置するなど、手配をして欲しい。

A 中原輝明議員

- ・要望していく。

Q 11 市民

- ・グリーンベルトは歩道として認められるのか。事故が発生したら、責任はどうなるのか。

A 中原巳年男議員

- ・グリーンベルトは歩道として認められない。安協の許可のみです。歩道ではないため、運転手側への注意喚起だけである。

Q 12 市民

- ・木質バイオマス発電事業について、成功すれば良いが、失敗して、市の負債になったりしないか。

A 青木議員

- ・木質バイオマス発電事業は、産・学・官の連携事業で、産は製材業など2社と、学は、国立大学や県内大学などと、官は、国・県・市が連携した壮大なプロジェクトである。雇用創出や、新しい林業、余熱利用など、多彩な方面への事業であるが、まだ、構想段階。

Q 13 市民

- ・洗馬地区には、片丘の木質バイオマス事業のような、明るい未来は何か計画されているのか。将来ビジョンを教えて欲しい。

A 中原輝明議員

- ・洋野菜の安定供給と安定価格の確立など、再構築していく。

Q 14 市民（要望のみ）

- ・議会報告会は、一斉に開催して欲しかった。

洗馬は、春の報告会の開始から6ヶ月たってようやく順番が来た。取り残された気持ちになって寂しい。もっと、地域に出前する機会を多くして、議員皆さんの顔も見えるようにしてほしい。